

鶴岡市総合計画審議会 第2回社会基盤専門委員会

平成30年5月28日(月)

午前10時15分~

市役所議会棟3階 委員会室

次

第

1 開 会

2 あいさつ 社会基盤専門委員長

3 説 明

・都市機能の中心市街地集積事業の展開

4 意見交換

・鶴岡駅周辺地区並びに鶴岡公園周辺地区で予定されている事業について

(1) 鶴岡駅周辺地区

(2) 鶴岡公園周辺地区(シビックコア地区)

5 そ の 他

・次回の予定：平成30年6月 日()

・進め方…別紙資料により、現状と課題、施策の方向等のご意見をいただく

6 閉 会 (司会：都市計画課長)

鶴岡市総合計画審議会 第2回社会基盤専門委員会 座席表

高谷時彦
委員長

長谷川 結 委員

國井美保 委員

佐藤鉄平 委員

本間 厚 委員

傍聴席

受付

出入口

野田明宏 委員

阿部正彦 委員

菅原武士 委員

井上貴利 委員

佐藤裕子 委員

契約管財課長

建築課長

土木課長

上下水道部長

建設部長

都市計画課長

建設部参事

都市計画課主幹

政策企画課

政策企画課

政策企画課

土地調整主幹

情報企画課長

地域振興課

都市計画課

都市計画課

資料一覧

1 第2回鶴岡市総合計画審議会社会基盤専門委員会次第

2 資料（事前配布）

1) 都市機能の中心市街地集積事業の展開

参考資料

2) 鶴岡駅周辺地区並びに鶴岡公園周辺地区で予定されている事業について

資料 1

鶴岡市のまちづくりの経過

- H 2年 鶴岡市景観ガイドプラン 城下町の構造を色濃く残す鶴岡の構造・景観を生かしたまちづくり
H 5年 庄内地方拠点都市区域基本計画 中心市街地区を「文化学術交流ゾーン」として整備を計画
H11年 旧中心市街地活性化基本計画
H13年 鶴岡市都市計画マスターplan+将来イメージシビックな市街地の形成
H15年 鶴岡文化学術交流シビックコア地区整備計画
H16年 鶴岡市区分の都市計画決定
都計法改正により線引きが選択制になる中、新たに線引きを実施
大規模建築物等の景観に関する条例
一定規模以上の建築行為について届出により審査に関する独自条例
都市計画高度地区の決定
建築物の最高限度を地区ごとに15・20・35mに制限
H17年 市町村合併
H17~23年 都市再生整備計画 市街地区(H17~21)、山王地区(H22~23)
H20年 景観計画 景觀行政団体(H18)、景観法に基づく条例の制定（独自条例の廃止）
中心市街地活性化基本計画
H24年 鶴岡市住生活基本計画
「地域資源の循環」、「住宅ストックの有効活用」、「人々の支え合い」
により市街地・農村・中山間地が共生する持続可能な住まいづくり
都市計画区域・区域区分の統合・拡大
旧町村の未線引き都市計画区域を統合・拡大し、全域を区域区分
鶴岡市空き家等の管理及び活用に関する条例
老朽空き家の適正管理と空き家の活用⇒NP0つるおかランド・パンク
鶴岡市歴史的風致維持向上計画
公園施設等長寿化計画
公共施設等整備計画
地域公共交通網形成基本計画
H29年 鶴岡市都市再興基本計画（都市計画マスタートップラン+立地適正化計画）
「先端研究産業や中核産業で新しいまちを磨き鶴岡」
基本理念
コシバクトシティ
鶴岡市コミュニティアーキテクト設置
・・・・・都市景観の形成に影響する建築物の基本構想指針



◆都市機能集積

・庄内地方拠点都市地域整備計画(地方拠点都市法)(H5)

⇒ 中心市街地区:学術文化交流地区

・都市計画マスターープラン(H13.6)

⇒ 人口規模に応じたコンパクトなまちづくり

・都市計画 区域区分の導入(線引き)(H16.5)

⇒ 無秩序な市街化の拡大の防止

・都市計画 高度地区の決定(H16.12)

○TTCK 荘内病院 アートフォーラム 商工会議所開館 タクト鶴岡

○莊内病院医師公舎

○民間金融期間本支店の建替え ほか

○鶴岡シビックコア整備事業 第2合同庁舎(H29~H34)

◆第1期 中心市街地活性化基本計画 (H20.7~H25.3)

○山王道路整備

○鶴岡まちなかキネマ

○山王夢ほつと

○銀座クオレハウス

○総合保健福祉センターにこふる

○藤沢周平記念館 ほか